

平成 22 年度 事業報告

I 総会及び理事会並びに常務理事会

- 1 総会及び理事会 平成 22 年 5 月 31 日(月) 県立長野図書館
(総会議事録は当協会HPに掲載)
- 2 常務理事会(事務局会議) 県立長野図書館 6回開催

II 本会事業

1 第 60 回長野県図書館大会

- ・平成 22 年 10 月 30 日(土) 飯田市(飯田文化会館・飯田東中学校)
- ・記念講演上野千鶴子氏「おひとりさまで大丈夫～つながる楽しみ、読むよろこび」
- ・全体参加者 889 名(うち講演会のみ 195 名) 15 分科会参加者 657 名

2 県図書館大会の見直しについて

県図書館大会は 60 回を経たところで、今後のあり方について、これまでの反省、過去の大会開催地の意見等を踏まえ本会常務理事会及び県大会企画委員会において、数回にわたり検討を行った。

その結果、大会の意義、開閉会式・全体会のあり方、分科会の充実、現地実行委員会の負担軽減、参加費負担問題並びに繰越金制等について、再確認、見直しを行い第 61 回大会からその結果に基づき開催することとした。(別紙参照)

3 図書館協会専門研修について

(1) 図書館職員等ステップアップ(専門)研修

7 月～12 月、県下図書館で 8 回開催。受講者数 174 名

(2) 読書ボランティア講座(子どもゆめ基金助成事業)

10 月～11 月、県下図書館等で 6 回開催。受講者数 171 名

(3) 出前講座～研修メニューや講師を紹介します～

随時

* 図書館職員学び直し講座(協力事業)

上田女子短大が主催し、県図書館協会、松本大学が協力して実施中。大学の教育資源を活かし、現役司書等を対象に体系的、継続的研修を行っている。現在第 3 講座終了。57 名登録

4 図書館建設に伴う学習会、相談支援事業

ここ数年来県下は図書館建設が活発で、平成 22 年度には塩尻市立図書館、上田市真田図書館、安曇野市豊科図書館が開館した。また、現在検討中の自治体には、松本市、上田市、小諸市、安曇野市、東御市、軽井沢町、木曾町、箕輪町等がある。

これらの図書館建設支援のため、検討会、学習会等を奨励、助言して図書館の意義

の理解促進を図るとともに、相談支援事業を行った。

5 長野県市町村史誌等目次情報データベース事業

(財)図書館振興財団の助成を受け、県下公共図書館の協力を得て長野県史及び19市の市誌を対象に実施中で、2月から供用開始しており、6月末までに19市全てを完了、供用開始予定である。各図書館HPにリンクを張る等利用促進をPR中。

国立国会図書館 Dnavi に登録されるとともに、カレントアウェアネス、「図書館雑誌」(3月号)等でも紹介された。

6 委員会の設置

「評価基準に関する専門委員会」を公共図書館部会に設置し、成案を得た。

7 信州図書館文化講座

～蘇る文学のこころ 一茶・信州の名著・源氏物語～をテーマに実施

(1)2月12日 県立図書館「江戸のエコロジスト一茶」マブソン青眼先生

(2)3月5日 塩尻市立図書館「出版王国・信州の名著を旅する」塩澤実信先生

(3)3月19日 県立図書館「源氏物語おんなたちの世界」堀井正子先生

受講者 113名

8 図書館を使った調べる学習コンクール入賞作品の貸出等

入賞作品(レプリカ)を県教育センター及び上田市の小学校へ2回貸し出すとともに、展示会を奨励、開催した。

9 ホームページの管理運営事業

研修計画、各種事業、地域情報、各種関係資料、会議・部会等のお知らせ等の情報発信により、県下の図書館に関わる情報提供のセンター的役割を果たしている。3月31日現在アクセス数 47,456件(1日平均 26件)

10 組織基盤の強化について

支部総会への役員の出席等を通じて、本会与支部との交流、連携の機会を持った。

11 専門的人材情報の提供

音訳指導者等について検討を行ったが、掲載に至っていない。

III 公共図書館部会の事業

(1) 会議

①館長会議 5月28日(金) 坂城町文化センター 48名

②幹事会 3回

(2) 研究集会等

①第60回長野県図書館大会 10月30日(土) 飯田市文化会館

②公共図書館初任職員研修会 6月25日(金)・9月24日(金)・10月29日(金)
県立長野図書館 74名・20名・20名

- ③図書館職員ステップアップ研修 協会本会の事業として実施
- ④図書館講座Ⅰ 10月18日(木) 生涯学習センター
Ⅱ 11月9日(火) 塩尻総合文化センター
- ⑤障害者サービス研修会 11月12日(金) 県立長野図書館 54名
- ⑥長野県同和教育研究大会 9月28日(火) 総合教育センター 4名

(3) その他

- ①平成22年度長野県公共図書館概況の提供(県立長野図書館ホームページに掲載)
- ②録音・点字図書目録増加分の提供
- ③新聞・雑誌総合目録の提供(CD-ROM)

Ⅳ 小中学校図書館部会の事業

(1) 会議

- ①支部代表者会 3回
- ②幹事会 5回

(2) 第60回長野県図書館大会 10月30日(土) 飯田市文化会館

(3) 第37回全国学校図書館研究大会 8月4日(水)～6日(金) 静岡県 2名

(4) 地区研究会

- 北信 中高支部 9月2日(木) 平岡小学校・高社中学校 102名
- 中信 塩筑支部 11月5日(金) 宗賀小学校・塩尻西部中学校 100名

(5) 第33回長野県読書感想文コンクール

- 応募総数 小学校 235校 3524編 中学校 84校 1977編
- 入賞作品 小学校 200編 中学校 75編
- 全国入賞(サントリー奨励賞) 松本市立旭町小 4年 佐藤友香

(6) 第22回読書感想画コンクール(全国学校図書館協議会・毎日新聞社主催)

- 応募総数 小学校 15校 262点 中学校 10校 90点
- 入賞作品 小学校 23点 中学校 15点 (全国入賞なし)

(7) 研究委員会

- ①推薦課題図書選定委員会 4回
- ②司書教諭研究委員会 4回
- ③学校司書委員会 5回

(8) 図書館職員ステップアップ研修 協会本会の事業として実施

(9) 部会だよりの発行 (126号・127号・128号・平成22年度推薦図書目録特集号)

- (10) 第 33 回長野県読書感想文コンクール金賞作品集「ひろがる読書」の編集
- (11) 図書館実務マニュアル「新鮮で使いやすい図書館に」改訂版の発行および「司書教諭と学校司書力を合わせて図書館教育」の販売・利用促進
- (12) 全国学校図書館協議会事務局長会議参加 2月3日(木)・4日(金) 東京

V 大学専門図書館部会報告

大学専門図書館部会には20館所属している。国立が7館(学部図書館を含む)公立が3館、私立が10館である。図書館大会へ参加して、発表や意見交換等を行った。

昨年度は「大学図書館と公共図書館との地域連携」の題で発表・討論を行い、地域の大学図書館情報を提供することとした。方法として、担当者間のメーリングリストによる意見交換を行った後、各図書館の「長野県内大学図書館基本情報(OPAC公開、学外者利用、学外者貸出、複写受付、貸借受付等)」を表にまとめ、信州大学中央図書館のホームページで発信している。

平成 23 年度 事業計画

I 総会及び理事会並びに常務理事会

- 1 総会及び理事会 平成 23 年 5 月 31 日(火) 県立長野図書館
- 2 常務理事会(事務局会議) 県立長野図書館 5～6 回

II 本会事業

- 1 第 61 回長野県図書館大会
10 月 22 日(土) 上田市(真田公民館・真田中学校)
現地実行委員会を設置。各部会において分科会の内容、運営等準備中。
- 2 長野県図書館協会専門研修について(別紙)
 - (1) 図書館職員等ステップアップ(専門)研修
 - (2) 読書ボランティア講座(子どもゆめ基金助成事業)
 - (3) 出前講座 ～研修メニューや講師を紹介します

- * 図書館職員学び直し講座(協力事業)
第 4 講座、第 5 講座を開催予定(別紙)

3 長野県市町村史誌等目次情報データベース事業

平成 22 年度事業に引き続き、県下全ての市町村史誌の目次情報をデータベース化し、Web に掲載、横断検索を可能にして県民の調査研究やレファレンスサービスの向上に資する。また、地域雑誌の目次情報もデータベース化、Web 提供して課題解決支援の一助とする。

(現在、(財)図書館振興財団へ助成申請中)

4 図書館建設に伴う学習会、相談支援事業

現在、図書館建設を検討中の自治体は、松本市、上田市、東御市、小諸市、軽井沢町、木曾町、箕輪町等がある。

これらの図書館建設支援のため、検討会、学習会等を奨励、助言し、課題解決支援サービスはじめ図書館の意義の理解促進を図るとともに、相談支援事業を行う。

特に、建設ラッシュともいえる東信地域において首長や行政関係者、議員、関係者の図書館理解促進のためのフォーラム開催を検討する。

5 読書部会を設置し、読書活動の連携、推進を図る

県下には現在、読み聞かせ・お話し会・朗読等の 300 を越す団体、グループが存在する。図書館や学校を主な活動拠点としているもの、独自に活動しているもの、子どもを対象としたもの、大人だけのもの等、形態、目的は様々であるが、現状ではこれらの団体、グループは横の連絡、連携はほとんど無い。

また、子どもの読書活動推進法が制定されて久しく、各自治体は推進計画を策定しているが、実際の活動が計画通り活発に推進されているところは少ない。

当協会は会則に読書部会設置を定めており、平成 18 年以降読書ボランティア講座を積極的に開催し人材養成に努めてきた。

この度、長野県PTA親子読書推進の会をはじめ、読み聞かせ・お話し会・朗読等の団体、グループの理解、協力を得ながら読書部会を設置し、これらの連絡、連携を進め、読書活動の一層の推進を図る。

6 学校図書館の意義の理解促進のための情報提供

学校図書館の意義の理解促進、司書教諭といわゆる学校司書のあり方、実態等に多くの課題がある。

この問題について共通認識を図ることが重要であり、そのための情報・資料提供の研究委員会を設置し、学校図書館法やSLA、日本図書館協会、LIPARの提言、先進事例等について当協会HP上において情報提供に努める。

7 長野県版認定司書制度創設のための研究委員会の設置

司書の社会的認知やレベルアップ、キャリア形成等を目指し、節目を迎えている司書資格に対応し、日図協の認定司書制度を補完する制度～経験年数の短縮、司書のほかに司書補、学校司書、司書教諭も対象とした長野県版認定司書制度創設のための研究委員会を設置する。

8 信州図書館文化講座の開催

平成 24 年度NHK大河ドラマ「平清盛」の放映に合わせ、「平家物語」、木曾義仲、

民話「万寿姫」等をテーマに、ゆかりの地で暮れから来春にかけて 3 回連続講座を開催する。

9 「図書館を使った調べる学習コンクール」の入賞作品(レプリカ)を貸し出すとともに、展示会を奨励する

10 ホームページの管理運営事業

研修計画、各種事業、地域情報、各種関係資料、会議・部会等のお知らせ、紹介等を行う。特に、学校図書館の意義の理解促進のための情報提供や公共図書館関係情報の提供に努め、県下全ての図書館に関わる情報提供のセンター的役割を果たす。

11 組織基盤の強化について

支部総会への役員の出席等を通じて、本会と支部との交流、連携を進める。

Ⅲ 公共図書館部会の事業

(1) 会議

- ①館長会議 5月27日(金) 小諸市コミュニティーセンター
- ②幹事会 3回

(2) 研究集会等

- ①第61回長野県図書館大会 10月22日(土) 上田市
- ②公共図書館初任職員研修会 6月24日(金)・9月30日(金) 県立長野図書館
- ③図書館職員ステップアップ研修 協会本会の事業として実施
- ④家庭・幼児教育講座 5月12日(木)・生涯学習推進講座 1月19日(木)
生涯学習センター
- ⑤障害者サービス研修会 11月下旬 県立長野図書館
- ⑥長野県同和教育研究大会 9月27日(火) 総合教育センター

(3) その他

- ①平成22年度長野県公共図書館概況の提供(県立長野図書館ホームページに掲載)
- ②録音・点字図書目録増加分の提供
- ③新聞・雑誌総合目録の提供 (CD-ROM)

Ⅳ 小中学校図書館部会の事業

(1) 会議

- ①支部代表者会 3回
- ②幹事会 5回

- (2) 第 61 回長野県図書館大会 10 月 22 日(土) 上田市
- (3) 第 26 回北信越地区学校図書館研究大会 8 月 19 日(木)・20 日(金) 新潟県
- (4) 地区研究会
 - 北信 須高支部 8 月 29 日(月) 仁礼小学校・東中学校
 - 中信 木曾支部 11 月 10 日(木) 木祖小学校・木祖中学校
 - 南信 諏訪支部 11 月 11 日(金) 下諏訪北小学校・下諏訪中学校・第五保育園
- (5) 第 34 回長野県読書感想文コンクール
- (6) 第 23 回読書感想画コンクール(全国学校図書館協議会・毎日新聞社主催)
- (7) 研究委員会
 - ①推薦課題図書選定委員会 3 回
 - ②司書教諭研究委員会 4 回
 - ③学校司書委員会 4 回
- (8) 図書館職員ステップアップ研修 協会本会の事業として実施
- (9) 部会だよりの発行 (129 号・130 号・131 号)
- (10) 第 34 回長野県読書感想文コンクール金賞作品集「ひろがる読書」の編集
- (11) 図書館実務マニュアル「新鮮で使いやすい図書館に」および
「司書教諭と学校司書力を合わせて図書館教育」の販売・利用促進
- (12) 全国学校図書館協議会事務局長会議参加 2 月 2 日(木)・3 日(金) 東京

V 大学専門図書館部会の事業～大学における学術情報の発信と地域リポジトリ～

現在、機関リポジトリを通じた学術情報発信が、大学の活動成果の発信・社会への説明責任、知的生産物の長期保存などの観点から重要性を増しており、国も推進する必要性を打ち出している。

そこで、昨年からは信州大学が中心となって活動を進め、県内大学等が作成した論文や紀要、研究報告などを、国立情報学研究所が提供する機関リポジトリシステム基盤を活用し、広く国内外へ発信する地域共同リポジトリ「信州共同リポジトリ」を設立、現在8大学が参加を表明しており今年度から積極的推進を目指している。